

科目名	自動車整備法規							年度	2026
英語科目名	Automotive maintenance law							学期	後期
学科・学年	一級自動車整備科 3年次	必/選	必	時間数	12	単位数	0	種別※	講義
担当教員	坏裕光、大瀧昇利、村木亮治、丸岡慎、非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士		
【科目の目的】 自動車整備に関する法規及び通達の理解									
【科目の概要】 自動車整備に関する法規及び通達の詳細について学びます。									
【到達目標】 法規で定められた各制度を学ぶことで、自動車に関わる法規を遵守する事の重要性を理解することが出来るようになること。各制度を的確に実施出来るようになること。この科目が一級自動車整備士資格取得にとっての重要な科目であることを意識し、自宅学習などで知識を固定させることが出来るようになることを目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い受講すること。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	安全作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	安全作業について積極的に学び、理解することができる	安全作業について学び、理解することができる	安全作業について理解できない	安全作業について理解する姿勢がない				
到達目標 B	自動車検査機器について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車検査機器について積極的に学び、理解することができる	自動車検査機器について学び、理解することができる	自動車検査機器について理解できない	自動車検査機器について理解する姿勢がない				
到達目標 C	自動車検査機器取扱について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車検査機器取扱について積極的に学び、理解することができる	自動車検査機器取扱について学び、理解することができる	自動車検査機器取扱について理解できない	自動車検査機器取扱について理解する姿勢がない				
到達目標 D	自動車法定点検について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車法定点検について積極的に学び、理解することができる	自動車法定点検について学び、理解することができる	自動車法定点検について理解できない	自動車法定点検について理解する姿勢がない				
到達目標 E									
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験を総合的に評価（100%）									
演習のいずれかを記入。									

科目名		自動車整備法規			年度	2024
英語表記		Automotive maintenance law			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自動車整備法規概要・登録制度	自動車整備法規概要・登録制度の理解	1 整備法概要	各項目の理解	2	
			2 登録制度	各項目の理解		
2	各種点検項目	各種点検項目の理解	1 概要	各項目の理解	2	
			2 点検項目	各項目の理解		
3	車体構造、安全装置、公害防止装置	車体構造、安全装置、公害防止装置の理解	1 車体構造	各項目の理解	2	
			2 安全装置	各項目の理解		
			3 公害防止装置	各項目の理解		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等